

自治労京都府本部第165回中央委員会

人権闘争の要求実現と参議院選挙にむけて府本部一致団結する!

府本部は六月三日、キャンパスプラザ京都において中央委員会を開催し、これまでの経過報告、各種会計中間決算報告と、当面の闘争方針、七月の参議院選挙の推進などを決定した。冒頭、高橋執行委員長は熊本県を中心とする九州地震で被災された方々へのお見舞いと府本部として支援をしていく決意を述べられた。また来るべき参議院選挙における取り組み、二〇一六春闘の結果を踏まえた人権闘争の要点について触れられた。その後、岡本書記長から「民間の賃上げを踏まえ、月例給・一時金の改善、臨時・非常勤等職員の雇用・労働条件の改善、男女平等、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた人員確保、自治体財政の確立と社会保障の充実に向けた政策要求」などが提案され承認された。最後に中谷副執行委員長（京交）が、人権闘争における要求実現と参議院選挙の必勝にむけて府本部一致団結することを訴え、「団結がんばろう!」を三唱し閉会した。



岡本哲也書記長



高橋直樹執行委員長



発行所 京都交通労働組合
京都市中京区壬生坊城町48
TEL075-841-0948 FAX075-811-3536
定価 一部10円
本紙の購読料は組合費に含まれています
毎月1日・16日発行
発行者 瀬戸高志
編集者 梅田涼

第9回青年女性委員会総会報告

2016年度活動方針及び新役員が承認された!

二〇一六年五月二十八日（土）十一時から、京都アスニーで第九回京都交通労働組合青年女性委員会総会を開催し三十九人が参加した。冒頭、主催者として安田稔青年女性委員長（梅津）が二〇一五年度の活動に感謝の言葉を述べ「京交の若手組合や女性組合を中心に今後も活発な委員会活動目指し、将来に繋ぐ取り組みを強化します。明るい未来のために引き続き、協力を願います」と挨拶に立った。続いて、議長の選出があり、草川美佳委員（烏丸線乗務）が選ばれ、来賓紹介に移り、本部から瀬戸高志執行委員長、自治労京都府本部青年部から玉口和毅青年部長が出席された。瀬戸高志執行委員長が①ワークライフバランスについて②テロ対策について③京交のこれからの運動について述べられ、締め「本日の参加者から次世代のリーダーが出てくることを期待しています」と激励された。続いて、玉口和毅青年部長が①府本部青年部の活動について②近畿地連青年女性協議会について述べ、締め「若者の政治離れが問題視されています。七月に行われる参議院議員選挙では、自治労組織内候補のえさきたかしをよろしくお願います。」と挨拶に立たれた。次に議案に入り二〇一五年度活動報告を田野友也幹事（烏丸線乗務）が行い、第一号議案（二〇一六年度活動方針（案））を小林寛也事務局長（本局）が提案し、満場一致で承認された。第二号議案では、二〇一六年度の役員選出（案）が提案され、引き続き安田稔委員長が再任し、新たに中島優太郎副委員長（本局）酒市駿幹事（東西線乗務）草川美佳幹事（烏丸線乗務）木村晃輔幹事（烏丸線乗務）が選出された。新幹事を代表して、木村晃輔幹事が「青年女性委員会の発展のために精一杯頑張ります。よろしくお願います」と挨拶に立った。総会の締めには全員で「団結ガンバロウ」を力強く三唱し第九回青年女性委員会総会は成功裡に閉会された。



安田稔青年女性委員長



～参加者全員でガンバロウ～

安田 稔 青年女性委員長

京交青年女性委員会学習会報告

京交の歴史や男女共同参画について学んだ!

二〇一六年五月二十八日十三時三〇分から京都アスニーで、京交青年女性委員会学習会を開催した。冒頭、主催者として安田青年女性委員長から講義内容について説明がされた後「多くの事を学び職場の仲間へ伝えて下さい。有意義な時間を過ごしましょう」と挨拶に立ち学習会がスタートした。第一講座では、男女共同参画について講演がされ、講師には、京都市男女共同センターから市原陽子さんが務められた。今の世の中、男女が平等であるか。性別で役割分担を自分の中で決めていないか、などの講義をされ、それぞれが自分の考え方を見直す機会になった。続いて、女性が男性に求めるもの。男性が女性に求めるもの。お互いがうらやましさと思っていることなど、様々なデータを下で講演が進んだ。次に、結婚相手に望む事について、昔と大きく変わってきたのは、男性が女性にも経済力を求めている事、女性が男性に経済力を求めているのは昔から変わっていないとされた。また、ワークライフバランスについて、特に男性の家事育児時間の少なさ、育児休暇の取得率の低さが問題になっているとされた。

第二講座では、京交の歴史や今後の運動について中谷文明副執行委員長が講演された。「京交は、昨年再建七〇周年を向かえた。過去を振り返ると市電が走っていた時代は、人員不足で過酷な労働条件であった。また、現在では考えられない施設や職場環境であり、バスにはクレーンが無い。本館の施設では、男女が同じトイレを使用。四階建ての建物でエレベーターが備え付けられていなかった。しかしながら、これまでの労使交渉で職場環境を勝ち取ることができた」と講演がされた。総括として「労働組合の組織が無ければ、労働は強制にされる。組合活動の主体は、労働者の処遇改善、政治活動、平和運動の三本である」とされ第二講座が終了した。その後、質疑応答に入り学習会が閉会された。



講演をされた市原陽子さん

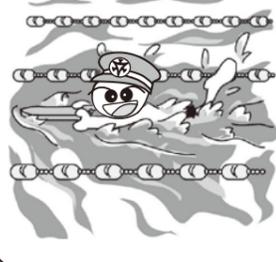


講演をされた中谷文明副執行委員長



・・・真剣に取り組む参加者・・・

安田 稔 青年女性委員長



た。総括として、家事育児は女性の仕事。力仕事は男性の仕事と決めず、性別で役割分担を持たない。お互いが助け合い協力し合える社会が男女共同参画社会であるとされ、第一講座が終了した。

＝京交再建70周年記念事業報告＝

「エコキャップ」運動で世界の子供たちにワクチンを 組合員の協力で約10万個。ポリオワクチン115本に！

2016年6月23日(木)京交再建70周年記念事業社会貢献活動として昨年から組合員の皆様にご協力を頂いたペットボトルのキャップを集める「エコキャップ運動で世界の子供たちにワクチンを」が集約され、リサイクル業者に持ち込まれました。エコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援・ワクチン支援や障害者支援、子供たちへの環境教育などの様々な社会貢献にあてられます。今回、京交では総重量230キロにのぼり個数では、なんと約10万個！となりました。エコキャップ860個分でポリオワクチン1個に相当するため、115本分のポリオワクチンが寄贈されます。予想を大きく上回るエコキャップ数に心から感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

京交では、今後も「エコキャップ」キャンペーンを展開し社会貢献に努めます。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



～ 組合員の努力の結晶 ～

自治労熊本地震災害 ボランティア活動に 参加して



2016年6月6日から12日までの一週間、自治労のボランティア活動として、支援活動に参加しました。活動拠点は、地震の

被害が大きかった益城町で被災された方が持ち込まれるがれき搬入作業で誘導や搬入・荷卸しの手伝い、分別の指示などを行いました。搬入場所であるグラウンド跡地の仮置き場では被災者持ち込みは水・木・土曜日で行われその他の日は、分別作業や処理場への搬出作業が行いました。現地の町職員は、休みなしで仕事をされていました。がれきの撤去は、まだまだ始まったばかりで、分別や収集は継続的に行わなければならないと思います。また、宿泊所であるベースキャンプは阿蘇市で、益城町や熊本市へ行く国道は阿蘇大橋の崩落で通れなくなっているの、山道へ迂回しなければならず時間もかかり、更に渋滞しているのかなり不便になっています。その山道は冬になるとよく凍結し通行止めになり、孤立してしまうため心配されていました。また温泉が出なくなった地域もあり建物など復旧したところでどうして生活するかという問題が発生していました。現地の被災者の必要とされることは千差万別で、対応もその都度求められます。今回の活動を通じて現地の皆さんが前向きな方が多く、こちらが頑張ろうという思いになりました。

山本 勇 電整支部長

市バス・地下鉄家族モニター募集！

職員の家族による市バス・地下鉄 家族モニターを今年も実施します！
夏休み期間中のこの機会に、ご家族でクールスポット巡りや、
駅ナカでお買い物もしながら、モニターにご協力をお願いします★ ★

モニター期間

8月1日(月)～8月31日(水)

モニター方法

期間中に1回以上 市バス・地下鉄にご乗車いただき、ご利用モニター票に記入後、支部役員へ渡してください！
【モニター内容】「お客様との対応」「アナウンス」など

申込方法

各ご家庭にお送りしております ご案内資料の申込書に必要事項を記入のうえ、支部役員又は各所属の庶務の方へお渡しください。

申込締切:7月19日(火)

プレゼント

モニターいただいた方の中から抽選で20名様に！
交通局オリジナルグッズ！
お楽しみ！“太秦萌の最新グッズ”をプレゼント



主催

京都市交通局・京都交通労働組合 職員力・お客様サービス向上ワーキング

						3
		2	6			7
	8	9			1	
4				8	2	
		4	9			8
		3	7			
		5			8	9
	2			1	4	
6						

このナンプレが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは八月五日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

「ナンプレ」のコーナーです。ちよっと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？下記のマス已全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

脳に刺激を！超難問？ナンプレ

意外にも競馬場は、絶好の子供の遊び場だった！
そうだ、京都競馬場にいこう！
「賭け事である競馬場に子供を連れて行くなんてとんでもない！」「赤ペンと新聞紙を持ったタバコを吸うおじさんばかりのところ、子供を連れて行くなんて信じられない！」と思われる方も多いかも知れません。競馬はヨーロッパでは上流階級の人々がたしなむ高貴なスポーツの一つです。日本でも一昔前までのイメージとは異なり、カップルも多く、子連れもたくさんいます。さらに、今の競馬場は子供が遊ぶところもたくさんあり、かつ一部を除いて原則禁煙です。子供が遊ぶポイントとして、滑り台などの遊具が充実し、自然に囲まれて広い遊び場があります。また、キッズルームや子供用のイベントやショーをやっています。そして、目の前で馬が走っているところを見ることが出来ます。競馬場ならではの体験として、ポニーに乗せてもらえたり、馬車に乗せてもらえたりという馬とのふれあいイベントもあります。私は昔から競馬場に行っていますが、最近特に小さな子供がいる家族層をターゲットにした施設改修が進んでおり、どんどん新しい遊具が新設されています。五歳の娘も「競馬場にいこうか」と言うとうれしく喜びます。入場料は大人二〇〇円、子供無料です。駅も競馬場に直結していますし、駐車場も広いです。一般的にはあまりよい印象を持たれない競馬場ですが、だからこそ実は穴場です。馬券は一〇〇円から購入することができますし、馬券を買わなくてももちろん構わないのです。馬が走っているところを見るだけでも子供にとっては貴重な体験となりますし、馬に乗ったり、他のイベントに参加したり、遊具で遊んだりもできます。ぜひ、休日の子連れスポットの一つとして競馬場も加えてみてください。

教宣部員 佐藤 真

教宣部員のつぶやき



当選者氏名(敬称略)
小山 誠一(烏丸線乗務支部)
石井 智子(烏丸線乗務支部)
山下 順平(烏丸線乗務支部)

ホ	ウ	フ	ク	ゼ	ツ	ト	ウ
ツ	キ	イ	ラ	イト	イ	ツ	チ
ト	ワ	イ	カ	①	ツ	イ	カ
ウ	イ	サ	ン	キ	シ	カ	ン
ス	キ	ル	②	ク	ア	ウ	ト
キ	③	イ	ス	ウ	ト	ク	

■答えは「ホワイトペーパー」

クロスワード
パズル
京交712号解答